

題材名 衣生活 日常着の手入れと保管(第2 / 5時)

《本時の目標(育成を目指す資質・能力)》

衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方を考え、工夫する。(思考力, 判断力, 表現力等)

こんな授業になっていませんか？

日常着の手入れの中で、今日は「しみ抜き」を実践しよう。
実際にしていることを言わせていけば、課題がつくれるかも…。

【教師の発問】

日常着にカレーのしみが付くと、
見た目も悪く、着たいという気
持ちがなくなりますね。
しみが付いたらどうしますか？
記入してみましょう。



今まで気にしたことが
ないな。洗えば落ちると
思うけれど…。

しみが付いたら洗う
よね。他に方法って
あるのかな。

教師は生徒へ課題を提示しましたが、生徒が日常の生活に結び付けて考えていないため、問題意識をもつことができていません。また、自分でしみ抜きをしたことがない生徒は、考えが広がりません。

「見方・考え方」を働かせる意識を飛ばす！

「生活の営みに係る見方・考え方」とは

家族や家庭、衣食住、消費や環境などに係る生活事象を、
協力・協働、健康・快適・安全、生活文化の継承・創造、
持続可能な社会の構築等の視点で捉え、生涯にわたって、
自立し共に生きる生活を創造できるよう、よりよい生活
を営むために工夫すること。

「生活の営みに係る見方・考え方」における内容と視点



主として捉える視点は大きい丸で示している

中央教育審議会「家庭・技術・家庭ワーキンググループにおける審議の取りまとめ」より
(H28年4月)

生徒が「見方・考え方」を働かせるためには

家族・家庭や地域における生活を見つめさせ、問題解決的な学習活動を行いましょう。

家庭分野は、生活を工夫し創造する教科です。生徒が家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどの一連の学習過程を効果的に取り入れることが、資質・能力の育成につながります。「生活の営みに係る見方・考え方」に示される四つの視点は、すべての内容に共通する視点であり、相互に関わり合うものです。

したがって、教師は、取り上げる内容や題材構成等によって、いずれの視点を重視するのかを適切に定めることが大切です。そして、重視する視点に基づき、「なぜ」「いつ」「どのように」のような問い掛けから、生徒が生活事象のどこに着目して考えるのか、学習の方向性を導くことができます。また、対話的な学習活動を効果的に設定し、生徒が多角的に考察することができるような学習過程にすることも大切です。

授業を こう変える！

- ・洗濯後の日常着の汚れを点検させることで、「健康・快適・安全」の視点から、実生活と結び付けて洗濯の問題を見いだせるようにする。…**1**
- ・生徒に自分が気になる汚れを選ばせ、どのように落とすかという課題を設定することで、主体的に解決策を考えることができるようにする。…**2**
- ・他者と意見交換する場を設けることで、自身の実習における課題の解決策について多角的に考察できるようにする。…**3**

このような授業にしていきましょう！

《前時において材料や汚れに適した洗剤を使って洗濯機による洗濯を学習し、家庭で実践後》

【実生活に結び付ける課題の工夫】…1

家庭での洗濯する前とした後の写真をタブレットで見て比べましょう。

【健康・快適・安全】

洗濯しても落ちない汚れに気付かせて、「しみ抜き」の課題を設定させよう。



きれいに洗えたと思ったんだけど茶色のところがある。これは泥の汚れだな。



〈生徒の姿〉
【健康・快適・安全】の視点から、日常着の洗濯に関する問題を見いだしています。

よく見ると黄色のしみがある。これは食べ物のカレーのしみかな。洗ったのに、落ちてないわ。



私も落ちていない汚れがあるわ。洗濯しても落ちない汚れって、どうしたら落ちるんだろう。



【主体的に解決できるようにする学習活動の工夫】…2



洗濯しても落ちない汚れがあることに気付きましたね。

今日は、その汚れの落とし方を考えましょう。白い布を配ります。自分にとって気になる汚れのもとを選んで、布にしみを付けてください。どのようにして落とすのでしょうか。

気になる汚れを落とそう

- ・泥
- ・ケチャップ
- ・絵の具
- ・しょうゆ
- ・ペン(水性、油性)
- ・ソース

〈生徒の姿〉
自分が選んだ汚れをどのように落とすのかという課題を設定し、計画を立て実験する活動に入ることができています。これまでの知識を生かして汚れに応じた洗濯の仕方について、解決策を構想しています。



ぼくは、泥の汚れにしよう。水だけで落ちるか試した後に、石鹸や色々な洗剤で試してみよう。そういえば、小学校の時に手洗いによる洗濯をしたな。洗剤の量も考えよう。



私はソースのしみで試すわ。油が入っているから洗剤が必要ね。先生が用意してくれた1週間経過した汚れとの落ち方の違いを比べてみよう。



私はペンの汚れにする。油性ペンなら油だから洗剤で落ちるはず。漂白剤でも色を落とすことができるかも。



《しみを落とす実習後》

【多角的に考察できるようにする場の設定】…3



それぞれのしみの落とし方を班で共有しましょう。友達はどのような汚れをどのように落としたのでしょうか。落とし方の共通点や相違点を見付けながら話しましょう。

ペンの汚れは水性と油性で落とし方は違ったよ。しみが水性か油性かによって、洗剤を選ぶといいんだね。

しょうゆは水だけで落ちたわ。きっと水性だからだと思うわ。ソースは油が入っているから、洗剤を使ったら落ちたの。でも、1週間経過した汚れは、落ちなかったわ。

泥の汚れは、すぐに洗うと泥が広がってしまい、汚れがひどくなったよ。汚れの種類によって落とし方は違うんだね。

もっときれいにしみを落とせる方法はないのかな？



やり方が分かったから、今度からできそうだよ。

〈生徒の姿〉
他者との意見交換を通して、課題の解決に向けて実践したことについて多角的に考察し、よりよい生活を営むための工夫を見いだしています。

ほかの学習場面で「見方・考え方」を働かせている例

題材の後半の衣服の補修・保管について考える場面



制服を長く着用するには、どうしますか。
【持続可能な社会の構築】



「ほつれ」のあるズボン



「虫食い」のあるベスト

〈生徒の姿〉
生徒にとって身近な日常着である制服を取り上げることで、【持続可能な社会の構築】の視点から捉え、長持ちさせる工夫について考えています。

ズボンのほつれもベストの虫食い穴も、糸で縫えばいいと思う。同じ色の糸を使えば、見た目も変わらないわ。

それに、虫食い穴ができないように防ぐことも大切よね。収納方法を調べたら、汚れを完全に落として、防虫剤を入れるといいそうよ。

